君津市地域おこし協力隊活動報告

隊員名：橋本　亮

指名日：令和４年８月１日

活動月	令和５年１月
主な活動内容	**１.「亀山温泉ホテル」でテントサウナ体験会** **２.「上総地域のまちづくりセミナー」に参加**

１.亀山温泉ホテルでテントサウナ体験会

チョコレート色の天然自噴温泉で有名な亀山温泉ホテルさんでテントサウナ体験会を実施しました！亀山温泉ホテルさんには亀山湖を見渡せる、素晴らしい眺望のグランピングスペースがあり、そちらにテントサウナを設置して宿泊者限定の貸切テントサウナを行いました。真冬にもかかわらず、テントサウナ内の温度は 90℃まで上昇し、体の芯までしっかり温まる環境をご提供できました。また、サウナ後に水風呂に入れるように簡易プールを設置したり、インフィニティチェアを置いたり、「ととのう」ための付帯設備も準備した甲斐あって、お客様にも大変喜んで頂けました。オペレーション面で改善点はまだまだありますが、これからブラッシュアップして、君津の様々な場所でテントサウナを実施していきたいと思います。ちなみに、今後、亀山温泉ホテルさんのグランピング施設が増設されるようです。君津を訪れるお客様がより一層増えればうれしい限りです。

２．「上総地域のまちづくりセミナー」に参加

令和 5 年 1 月 22 日(日)に上総地域交流センターにて君津商工会議所主催の「上総地域のまちづくりセミナー」が開催されました。

第 1 部では、君津市上総地域のまちづくりに精力的に取り組まれている明治学院大学・岩永教授から、これまで明らかにすることが困難であった上総地域における空き家・空き店舗の現況やよりよいまちづくりに必要な要素について提言がありました。以前、私も同行させていただいた空き家調査ですが、本セミナーにて調査結果を伺ったところ、私の想像とは異なり、駅からのアクセスもよい久留里市場周辺の空き家比率が最も高いとのことでした。地域住民の方はもちろんですが、よそ者・若者をうまく巻き込んで、この空き家という遊休資産をどのように活かしていけるかが上総のまちづくりの鍵になりそうです。

第 2 部では、前橋市赤城のまちづくりに携われている東洋大学・鈴木准教授から、イタリアを事例に「チッタスロー（スローシティ）」という取組みのご紹介がありました。チッタスローとは、地域の農産物や生活、歴史、文化、自然など個性・多様性を尊重した新たなまちづくりを目指すものです。日本では宮城県気仙沼市と群馬県前橋市の 2 市が加盟しています。君津市も「チッタスロー」の思想を取り入れ、東京の劣化版をつくるのではなく、地域資源を活かしたまちづくりが必要なのかもしれません。

第 3 部では、講演者 2 名に加えて、岩永ゼミの学生さんや君津市民の方々を交えた意見交換を行いました。僭越ながら、私も地域おこし協力隊として登壇させていただき、住民の方を交えたディスカッションに参加させていただきました。時間が足りなくなるほど議論は盛り上がり、地域住民のみなさんのアツイ思いを肌で感じることができました。様々なバックグランドを持つ方が少しずつ増えて、上総地域、ひいては君津が少しでも活性したらうれしく思います。将来的にはサウナ付きのコミュニティスペースをつくって、地域住民の方と移住者・観光客が交流できるハブとなるような場を作り上げていけたらと思います。

岩永教授の講演の様子

鈴木准教授の講演の様子

意見交換会の様子①

意見交換会の様子②

<セミナー講演内容>

1部：講　師 明治学院大学　教授・専門社会調査士 岩永 真治 氏

テーマ Kazusa 地域づくり提案―小さく、ゆっくり、ていねいに！

「よく生きる共同体」を目指してー

2部：講　師 東洋大学国際地域学部　准教授　鈴木 鉄忠 氏

テーマ 中山間地域における「まちづくり」運動―イタリアの事例からー

3部：全員参加型意見交換会

テーマ 上総地域のまちづくりについて

地域おこし
君津市
協力隊